

1 開会（司会 地域保健課）

2 健康福祉部長挨拶

3 市職員紹介（司会より紹介）

4 議事

(1)次期国民健康づくり運動プランについて

資料（p 1～5）を用いて保健所長が説明
質問等特になし

(2)第三期高知市健康づくり計画の策定の方向性について

資料（p 6～7）を用いて事務局が説明
質問等特になし

(3)高知市健康づくりアンケート調査の実施について

資料（p 8～17）を用いて事務局が説明

【質疑応答】

〈古谷副会長〉

この調査対象ですけど、従来20歳から70歳未満だったと思うんですけど、今現在、選挙も18歳からとなり、後期高齢者は75歳となっています。やはり18歳から75歳未満の幅広い対象にアンケートを取る必要もあるのではないかなとちょっと疑問を感じました。

〈事務局（地域保健課）〉

18歳のところについては、所内検討委員会の議論の中でも話が出ておりましたが、例えばタバコとかお酒とかいうことになると、20歳からということ、健康に関することについては20歳以上ということではないかということ、一旦整理をいたしました。それから、70歳から75歳の高齢者のところにつきましては、今回12年間の計画ということで、ライフコースのことを考えましたら、今成人期にある方が12年後に高齢期に入っていく

というふうに考えまして、成人期を対象とすることといたしました。

あと今年度、高齢者の関係の計画の方も改定になっておりまして、そちらの関係で、高齢者を対象にしたアンケートが、別途実施されるということと、それから食育に関する計画についても、今年度改定で、食育に関する計画のアンケートにつきましても、別に実施されてその分については79歳までを対象にしておりますので、そういった関連の計画と整合性を取りながら今年度を立てていくことで、この健康づくり計画もバランスのとれた計画になるのではないかというふうに一旦整理をしているところです。

〈古谷副会長〉

はい、わかりました。以上です。

〈新谷委員〉

問17のあなたは週に何日ぐらいお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますかという設問です。

清酒換算として、清酒1合は、ほぼ次の量に相当します。というふうに、お示しをいただいているのですが、この度数についてです。

焼酎だったら20度、25度、35度というふうにお示しをいただいています。酎ハイは缶酎ハイで、5度、7度、9度と出ています。そこも例えば、5度だったら500mlと度数別に量をお示ししていただいたら分かりやすいかなと思います。それからウイスキーをダブル1杯60mlで書いてありますが、これはウイスキーの43度で60mlとか、ワイン2杯の240mlが1合になるか、私も手元に資料がないのでわかりませんが、ワインだったら14度で約180mlとかじゃないかなと思います。再度、数値をご確認いただければありがたいと思います。

今、若い方は日本酒をあまり飲まれないですね。結構、酎ハイを飲まれると指導していると思います。後、ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)とありますが、ビール5度500mlというふうに度数と量でお示しした方が分かりやすいかなと思います。以上です。

〈事務局(地域保健課)〉

こちらの表記につきましては、新谷委員さんにも相談させていただいて、より現実に近くわかりやすいようなものに修正していくことを検討させて頂きたいと思います。

〈議長 船井会長〉

そうですね。日本酒って年配の方が飲んでいるけど最近若い人は飲まなくて、ビールも飲まないという感じで、発泡酒とかそちらの方で何か目安になる資料が添えられていたら分かりやすいかなとは思いますが。平均的なところでいいと思うのですが、細かいことをいうと何%、何%とワインとかでも小差があつたりすることがあるので、大体何%ぐらいでこのぐらいの量を飲んでいたらこれぐらいがアルコールの量になりますよとかそういうのも含めて、何か資料みたいなものがあつたら分かりやすいかなとは思いますが、その点は検討させて

いただくということで。

問1から問7は、今までの状態ですけれど、がん検診は非常にあちこちで進められて、少しずつは増えているような感じがするのですが、それでも受けてないっていう人は全然受けてないというのがあったりします。どうして受けてないかという質問があつて、私もああ、そうですねという感じで今日は聞いていたのですが。がんに関心がある、身内にがん患者がいる人なんかは熱心に受けられているということがあつて、非常に有意義かなとは思いますが。特に乳がんなんかは十何人に1人とかもう当たり前のような感じで、私の身内でも、何人かが乳がんになったということは言われています。

この前泌尿器科の先生は、男性では前立腺がんが、がんの中で一番多いと言われていました。ただ亡くなる人は、他の大腸がんとかそちらの方が多いので、あんまり前立腺がんの検診を受けてないっていうか。血液の検査でPSAというのがあるのですが、その検査を受けてなくて、非常にまだ関心が低いということがあつて、健康のためにも受けていただいたらいいかなと思います。

色んながんのことについても、医師の中でもそうですけど、一般の方にも知られてないところがいっぱいあるのではないかなと思うので、健康のためにも受けていただいたらいいかなと思います。

〈議長 船井会長〉

新しくできた新規のCOPDは確かに重要な病気で、高齢者で、特に喫煙者に非常に問題になっているかなとは思いますが。実際問題、このCOPDに関して、喫煙していた人には、非常にこうわかりやすくなっているとかそういうのは過去あったのですか。喫煙している人は、COPDって言われたことあるとか。周りにいるから非常に関心がある、タバコ吸ってない人はあんまり関心がないとか。そういうことではなくて一般的な話で、COPDの話をしているかどうかというところでしょうか。

〈健康増進課〉

COPDに関しては、今回新規での設問となっております。船井会長もおっしゃられたように、高齢期の方がCOPDで亡くなる方の割合が高かったり、COPDの原因として、80～90%ぐらいの方が喫煙に関与されているというような報告があります。高知市では、これまでCOPDに関する状況を把握していなかったもので、今回の調査では、まず認知度を確認し、認知度を上げることから進めたいと考え、この設問の設置をしております。

〈議長 船井会長〉

今後、こういうことを広めていって、喫煙するとそういう病気になるリスクが高くなるということで、要するに喫煙率を下げるといふ方向に進めればいいし、医師会としてもいいかなと思います。高知県の喫煙率を見ていると、30代40代が30～40%近くまでタバコ吸っている人、男性の場合ですが多いので。

高齢者となると病気のことがやっぱり気になってやめているっていう感じがあつて。今か

らやめて、なかなかCOPDは防げないのではないかという気はするので、できれば若い人にそういう病気を知ってもらって、ある程度年齢を重ねた時に病気になって苦しい思いをするのは自分ですよ、ということをお願いいただけたらなと聞いてみたのですが。12ページはこれということ。

次の14ページの間19から問25について、この中でアニサキスが出ているのですが、高知県は結構いるのですか。

テレビとかで随分、話題にはなっているのですが、こういう報告の全体みたいなものが、高知市と高知県で何か把握できているとかいうのはありますか。

〈生活食品課〉

ここのところコロナの関係もあって食中毒の報告事例が少なくございますけれども、アニサキスは、届け出のうちの半分ぐらいを占めておるのが実態でございます。ただ事件にはならないまでも届けといたしますか、報告は上がっております。

〈議長 船井会長〉

非常にマスコミなんかで取り上げられて、芸能人らも私もかかったとかってバラエティみたいな感じで言っているの、そういう意味で結構なっていて。どうしても生食、生の刺身で食べたりするときに起こってくると言われていますので。いろんな魚にいますから。増えているか、よくこういうのが認知されて初めて、病院行く人もいるかと思っております。これもまた、どれだけ知られているかっていうことですね。

〈安田委員〉

14ページの間20、21あたりですけれども、これは区分が修正になっていますが、これは前回の調査結果との比較が前提になっている質問だと思うので、これを修正したことで前回との比較が難しくなると困るのですが。これは単純な質問ですが、何を前回から修正しているのでしょうか。例えば選択肢の部分をちょっと少なくしたとか、目標値を変えたとか、どういう修正なのかを説明していただいて、前回との比較に影響がないかどうかを確認しておく必要があると思うので、この点を事務局からご説明いただければと思います。

〈健康増進課〉

問20に関して、栄養バランスの「あなたは、「主食・主菜・副菜」の3つをそろえて食べたことが、1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか」という質問で、以前が「あなたは食事をする際に、主食・主菜・副菜をそろえるなど、栄養のバランスを心がけていますか」でした。以前が心がけていますかという設問だったのに対し、具体的に今回は、1日2回以上あるのは、週に何回ありますかという内容に変更したものとなります。

次の問21が、基準値の変更で、以前が「男性8グラム未満・女性7グラム未満」だったものが、今の目標値が「男性7.5グラム未満・女性6.5グラム未満」と、1日の塩分摂取量の

目標値が変更になったために、設問を変更しております。

〈安田委員〉

今の説明でよくわかりましたが、問 20 について前は「心がけていますか」という質問であったのに対して、今回は「実際にやっていますか」という質問に変わるということなので、その比較をしようとする、厳密には比較が難しくなるので、それは事務局でご検討いただければいいと思いますけれども、答えやすいのは今回の方が答えやすいかと思います。

前回との厳密な比較は難しくなるかもしれないけど、それを知った上でやるというふうに判断していただいてもいいですし、前回とやっぱり厳密な比較をしたいというのであれば、設問をできるだけ前回から変えない方がいいと思いますが、そこはまた事務局でご検討いただければと思います。あと問 21 はわかりました。

〈新谷委員〉

それに付随いたしまして、その問 21 の塩分摂取というところですけど、この目標値は、日本人の食事摂取基準 2020 年版の目標値を示していると思います。設問項目の塩分摂取量を食塩摂取量の目標値というふうにした方が正確だと思います。以上です。

〈健康増進課〉

ありがとうございます。検討をさせていただきます。

〈議長 船井会長〉

では次の、15 ページの間 26 から、問 34 までで何か。

歯科のことですが宮川先生、何かご意見はないでしょうか。

〈宮川委員〉

新規のフッ素なんかも加えて頂いていますので、この歯科の内容に関してはいいなと思っております。新しく高齢者に対するフッ素なんかも保険の方でも言われていますし、そこも入れてくださっていますし、1 年間の歯科健診というのも、1 年という期間もいいと思いますので、これをまた実施して教えていただけたらと思います。以上です。

〈議長 船井会長〉

ありがとうございました。

〈安田委員〉

問 33 の喫煙の質問ですが、今加熱式たばこが急速に紙巻きたばこに置き換わって、ほぼ置き換わりが終わりつつある時期じゃないかと思います。高知県が去年やった県民栄養調査もそうになっていたのではないかと思うのですが、加熱式たばこについても、回答する人がちゃ

んとたばこだということを認識して回答できるような設問，質問になっていたような記憶があります。僕もうろ覚えで間違っているかもしれませんが，国の国民健康栄養調査も多分，加熱式たばこのことを特別に取り上げた質問をしていると思います。

やはり今後の喫煙対策を考える上で，紙巻きたばここと，加熱式たばこを分けて聞くとかするような工夫をしておかないと，その喫煙状況について高知市民の実態がどのようなところなのかというのを把握するときに，他の調査と比較するときに問題があると思うので，県民栄養調査や国民健康栄養調査の喫煙の最新の質問ももうちょっとご覧になって，前回との比較ということであればできるだけ質問を変えないほうがいいのですが，加熱式たばこについても実態把握できるように変えたほうがいいかご検討いただけたらと思いますのでコメントいたします。

〈健康増進課〉

先生のおっしゃる通り加熱式たばこも，たばこに含まれますのでそれがわかる表記について検討をしたいと思います。

また，高知市母子保健課が実施する3歳児健診用の高知市健康づくりアンケートに，受動喫煙のことを確認する設問があり，そこでは「たばこ(加熱式たばこを含む)」というふうな表記になっているので，こういったことも合わせて，表記については検討させていただけたらと思います。

〈議長 船井会長〉

加熱式たばこを含むという3歳児健診の方に合わせるか別に聞くかというふうに，どちらかを事務局の方でまとめてもらったらいと思います。

〈佐野委員〉

問39になるとと思いますが，今，同行避難といわれていますけども，同行避難できる避難所に指定されたところは非常に少ないと思うのですね。これを飼い主さんがわかっているのか，わかってないのかという質問もあってもいいのではないかと思います。

わからないとか，近くにないとかということになると，それをまた対策として考えないといけないと思うので。その辺が一つ，疑問に感じます。

〈生活食品課〉

先生のご指摘のように，同行避難，また同伴避難，二通りの言い方がございまして，私どもの方で防災対策部の方が申し上げておりますのは，とにかく命を守るために，ペットがいるから逃げられないという環境を作らないために同行避難ということ呼びかけておるということで，今回同伴避難ということをあえて使っておりません。

もう1点が，確かに同行避難をされても受け入れられる場所があるかどうかというところは，防災対策部の方でも検討が必要ということにはなっておるようございまして，避難所

自体が、長期避難と一時避難、またこれも分かれてまいります。その辺のことも踏まえて、あまり細かく聞いていくとなると難しい問題が出てきますので、とにかく命を守るという意味で、同行避難をするつもりがあるかどうかという趣旨での質問というふうに考えておりますので、ご指摘の部分、十分理解できますが、そこまで聞くとすると、また設問が増えるのでどうかというところでこのような形で収めております。

〈佐野委員〉

わかりました。ありがとうございます。

〈議長 船井会長〉

問 46 を修正したのは、前は男性・女性・その他だけだったですか。
増えたというのは「4：回答しない」が増えたのですか。

〈事務局（地域保健課）〉

前回の平成 29 年は男性、女性だけでした。今回増えたのが、「3：その他」と「4：回答しない」です。

〈吉岡委員〉

前回、平成 29 年の時のこのアンケートの回収率と回収の数を一つの比較にして今度また分析をしなくちゃいけないので、その数値を教えてください。

〈事務局（地域保健課）〉

前回の平成 29 年のアンケートの回収率は 46.2%でした。その人数は 1,616 名になっております。

〈議長 船井会長〉

修正後のアンケートについては、皆さんから色々いただいた意見をまとめさせていただいて、事務局の方で検討した結果を、私が確認したいと思います。⇒異議なし

5 事務連絡

令和 5 年度第 2 回高知市地域保健推進協議会は令和 5 年 8 月 31 日の午後を予定

6 閉会